

2025 年度業務実績報告書

提出日 2026 年 1 月 16 日

1. 職名・氏名 助教 岡原直人

2. 学位 学位 修士(経済学)、専門分野 マクロ経済学、授与機関 東北大学、授与年 2018

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 マクロ経済学Ⅰ(2 単位, 1 年生)
② 内容・ねらい マクロ経済学における総生産(GDP)についての考え方を学習する中で、経済理論の思考法に慣れ、経済への介入を提唱したケインズの考え方を、他の考え方との関連の中で理解することが目標である。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 オリジナルの配布資料を基に、通常の講義を行った。一般的なマクロ経済学の教科書では省略される古典派等の考え方も説明し、それらの対比としてケインズの考え方を示すことで、その重要なポイントが理解しやすくなるようにした。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 マクロ経済学Ⅱ(2 単位, 1 年生)
② 内容・ねらい 前期のマクロ経済学Ⅰの延長線として、ケインズ経済学の分析について、分析の前提から結果が出るまでの流れと、そこにおける重要なポイントを自分の言葉で説明できるようになることが目標である。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 オリジナルの配布資料を基に、通常の講義を行った。分析の過程を丁寧に負いつつ、マネタリストや新古典派からの批判にも触れることで、ケインズ経済学の考え方における独自・特有の要素が理解しやすくなるようにした。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 外書講読(2 単位, 2 年生)
② 内容・ねらい 英語を日本語に翻訳することよりも、その過程を通して文意を掴み、文章全体における文脈の流れとそこに現れている筆者の考え方を掴むことを目標とした。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 テーマを経済学に限定せず、その週に起きた時事的な出来事についての英語の文章を用いることで、学生が文章の内容に興味を持ちやすいようにした。またその場で翻訳させることで、実際に訳す力が身につくようにした。

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
オムニバス「経済学」（2 単位, 1 年生, 1/15 コマ）

② 内容・ねらい

経済学の 1 分野としてのマクロ経済学ということで、マクロ経済学には多様な考え方があり、それらは重視する点の違いによるものであって優劣があるわけではないことを理解することを目標とした。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

豊かな社会を実現する方法とはなにかというテーマで統一し、学部におけるマクロ経済学の主要な分析の問題意識と分析結果、そしてその結論が明確に伝わるようにした。

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
経済学特講 C「行政のリアル」（2 単位, 2 年生）

② 内容・ねらい

実際の行政に携わる方の話に基づいて学生が問題解決のための提案を検討するなかで、グループの学生たちが考え方をまとめる際にアドバイスをを行った。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

教員による誘導にならないように基本的には学生の主体性に任せつつ、適宜、現状の論点の整理や議論の向かう先の明確化を手助けした。また、学生たちがスライド作成に慣れていなかったために、基本的な報告スライドの構成については十分なアドバイスをを行った。

(2)その他の教育活動

内容

・武生東高等学校において、探究学習に係わる外部アドバイザーとして、8 月および 12 月の 2 回、学生らの学習報告に対して、専門的知見からのコメントおよびアドバイスをを行った。

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	【 本】
②学術論文（査読あり）	【 本】
③その他論文（査読なし）	【 本】
④学会発表等	【 件】
⑤その他の公表実績	【 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	

5. 地域・社会貢献活動

[illegible]

6. 大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など